

農林水産省 農林水産技術会議事務局 研究推進課  
平成 29 年度補正予算「革新的技術開発・緊急展開事業」のうち「経営体強化プロジェクト」  
公募開始のお知らせ

農林水産省食品産業環境対策室より、我が国の農林水産業の体質強化を図るため、外国産との差別化、生産性の向上技術に対して技術開発を推進の支援事業を行うことが予算化されました。1 月中旬より公募要領が公表されますのでご報告します。

- ・ 公募対象事業：加工食品の賞味期限延長技術の開発／生鮮野菜の容器包装技術の開発
- ・ 詳細は添付 PDF 資料参照（容器包装技術関係の課題は資料 3 の P 5, 6 となります）

※「革新的技術開発・緊急展開事業」のうち「経営体強化プロジェクト」の概要

○対策のポイント

国際競争力の強化に向け、明確な開発目標の下、生産者・企業・大学・研究機関がチームを組んで、生産者への実装までを視野に入れた技術開発を早急に推進

○背景/課題

「総合的な T P P 等関連政策大綱」に即し、我が国農林水産業の体質強化を図るため、外国産との差別化や更なる生産性の向上を可能にする技術を生み出し、生産現場での速やかな活用につなげることが重要

このため、生産性向上に直結する課題に重点を絞り、分野の垣根を越えた研究勢力を結集して研究開発を実施し、短期間で研究成果を得て生産現場に実装することが必要

○主な内容

農林漁業経営体の技術力強化のため、テーマ毎に、農林漁業者、企業（ベンチャー企業等）、大学、研究機関がチームを組んで、明確な開発目標の下で現場への実装までを視野に入れた技術開発を支援

○事業実施主体：

国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構 生物系特定産業技術研究支援センター  
〒331-8537 埼玉県さいたま市 北区日進町 1 丁目 40 番地 2

電話：048-654-7000


ウェブサイト：<http://www.naro.affrc.go.jp/brain/index.html>

この平成 29 年度補正予算「革新的技術開発・緊急展開事業」のうち「経営体強化プロジェクト」は、事業実施主体の「生物系特定産業技術研究支援センター」にて 1 月中旬より公募開始予定です（スケジュールは添付 PDF 資料 P 7 参照）

公募予定が 1 月中旬であることから本事業にご関心のある方は 1 月中旬にセンターの HP をチェック下さい

公募課題（案）2

⑧加工食品の輸出促進のための賞味期限延長技術の開発  
【120百万円】

<イメージ>  



輸出促進を図るため、容器包装技術と非加熱殺菌技術を組み合わせ、加工食品の賞味期限の延長(1年以上)を可能にする技術を開発

【期待できる効果・ポイント】

- ✓ 賞味期限の大幅延長（例：6ヶ月→1年以上）
- ✓ 廃棄を減らして輸送コストを大幅に削減

公募課題（案）3

⑨国際競争力強化に向けた生鮮野菜の容器包装技術の開発  
【83百万円】

<イメージ>  


生鮮野菜、特に葉茎菜類の長期保存(2倍以上)を可能にし、加工・業務用野菜の安定供給、野菜の輸出促進を可能にする容器包装技術を開発

【期待できる効果・ポイント】

- ✓ 生鮮野菜の鮮度保持期間の大幅延長（例：10日→1ヶ月以上）
- ✓ 高品質な生鮮野菜の安定供給、輸出促進
- ✓ 計画的・安定的出荷と廃棄ロスの低減

#### 4 今後のスケジュール（予定）



7

#### お問い合わせ先

農林水産技術会議事務局研究推進課産学連携室

担当者：産学連携企画班 小林、新地、佐野

代表：03-3502-8111（内線 5898）

ダイヤルイン：03-6744-7044

FAX 番号：03-3593-2209